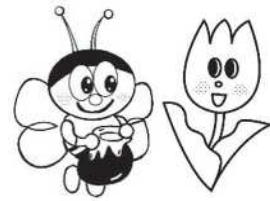


おかげさまでもうすぐ通算800号 「こすど地区公民館報」



こすど地区公民館報は、昭和24年10月に「公民館報こすど」としてスタートしました。以来、社会教育、生涯学習をはじめ、地域の行事や話題の情報発信として長年、地域住民の皆様に慣れ親しまれています。令和3年8月で通算800号の発行を迎えます。新潟県内、ひいては全国的に見てもここまで継続して（昭和24年10月の第1号から数えて令和3年3月で第795号）発行している伝統ある館報は「こすど地区公民館報」ぐらいしかないのではと思います。そこで、本号では、「昔の公民館報を振り返る」ということで、昔の紙面を引き出して当時の記事について振り返っていききたいと思います。

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

第200号



発行所 小須戸公民館
発行人 小須戸二良一知
印刷所 玉庭印刷所
毎月1日
一部5円

正しくみつめてやろう

青少年の健全育成を

七月十四日青少年の健全育成について、いかにあるべきかどうすべきかについて、青少年問題協議会が、町長を始めとして中小学校の先生方、PTAの役員の方、小須戸幹部派出所長、協議会委員保護司、婦人会長等多数の御出席を得て開野公民館長司会のもとで開かれました。

青少年の不良化、非行化の著しい傾向は現在のところ見受けられないがオートバイ、バイク等の無免許運転があり、特に技術の未熟のため即交通事故となる例が多く見られているので、家庭の方はキーの保管等について、充分注意していただきたい。

夏休みになりましたので休み期間中規則正しい生活を実行するため、まっず朝のラヂオ体操がもっとも身近なものと考えられるので、中学校において地域地域の補導委員が補導委員の仕事として、このラヂオ体操を実施することになっているので、地域の大人の方々も皆つて参加しようご協力をお願いします。

交通安全についてはこの夏休み中、特に気を付けて道路の上では自転車に乗って遊ばないこと、又道路を歩くときは必ず右側を歩くこと、自転車の二人乗りは絶対にしない。又婦人の方々はよく交通規則を守り、親がまず手本を示すようにお願いします。

愛の一声運動については子供が危険な場所に行ったら「危ないよ」と一声を、悪いことをしていたら「いけませんよ」の一声を掛ける勇気を、大人は持ちましょう。

子供を水の事故から守るために、危険な用水、排水路、川等充分子供にいい聞かせ、水の事故からお子を守りましょう。

お盆、秋祭りの時期となりまして危険な花火遊びには充分注意しましょう。

家庭の日は毎月第三日曜日です。できるだけ会合等は控えて、一家庭らん話し合いの日としましょう。

◆(上)第200号(昭和46年8月号)この時代も家庭教育について熱心に取り組んでいました

◆(右)第300号(昭和54年12月号)新津南高等学校の新設にあたり、熱い話し合いが行われていました



◆(下)第400号(昭和63年4月号)創刊第1号からの特徴的な記事について振り返っていました

「最近嬉しいと思った出来事は何ですか？」



巖 美乃里さん

私の通っている学校ではコロナの影響で修学旅行や体育祭が次々に中止となり本当に残念に思っています。ですが最近嬉しいことがあります。桜ヶ丘に公園があり「桜ヶ丘団地公園」と木

「よい高校をつくるには」

勤協主催で教育を語る会

勤協矢代田支部主催の第三回教育を語る会が、十一月十日の夜、矢代田公会堂において開かれ、地元・山の手会員、町部の会員等七十名が参加して、次のテーマで話し合いが行われました。

新設高校を守り育てるには

新設高校のかかえる諸問題について

講師には、黒崎高校・小島先生、新津高校・長井先生、小須戸中学校・小須戸先生を迎えて行われました。

よい高校をつくるには全町民の理解が第一に必要であり、町民が、あの高校はA、この高校はBというようにランクづけをするのからやめなければならぬ。

小須戸中学校から優秀な生徒が大勢入学すること、よい高校をつくる



◆(上)第500号(平成8年8月号)発展した町の航空写真が大きく掲載されていました



◆(上)第500号(平成8年8月号)発展した町の航空写真が大きく掲載されていました

※当時の公民館報をスキャンしたものを紙面に使用しています。読みづらい点がありますが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。(裏面あり)

「第11回にいがたボケ(ワン)スリッパ卓球大会」の中止について(お知らせ)

3月7日(日)に開催できるよう、実行委員会一丸となって準備を進めてまいりましたが、全国的に新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから、今年度の大会につきましても中止となりました。



あの時こんなことが書いてあった

〜今までの館報記事を見る〜

種目	1年名	2年名	3年名	種目	1年名	2年名	3年名
男子	135名	258名	125名	いちご	296	235	111
女子	108名	169名	94名	お手玉	56	53	00
種目	1年名	2年名	3年名	お手玉	56	53	00
男子	135名	258名	125名	お手玉	56	53	00
女子	108名	169名	94名	お手玉	56	53	00
種目	1年名	2年名	3年名	お手玉	56	53	00
男子	135名	258名	125名	お手玉	56	53	00
女子	108名	169名	94名	お手玉	56	53	00

原形復旧に約3億 (147号、昭和39年7月15日)

さる六月十六日の午後新潟地区一体をおそった地震は、各地で大きな被害をだしたが、小須戸町でも各所で被害を出した。特に当町では全壊住宅を三戸もだし、土蔵についてはほとんどが被害を受け、使用不能のものも数戸でている。

【公民館報通算800号記念企画を募集します】
公民館報通算800号を記念した特別企画を募集します。「例：公民館報デジタル縮刷版の作成、題字の公募、編集委員と読者の座談会」などのアイデアを思いついた方、企画に協力できる方は題字の下の連絡先にご応募ください。[応募締切：3月31日(水)]

第2回 アグリ・アート展 矢代田小1年生が入賞!

子どもたちが本格的な農業体験ができる南区の「新潟市アグリパーク」が、動物や野菜を描いた作品を募集した「第2回アグリ・アート展」において、「小学校の部 グランプリ」に矢代田小学校の飯野初花(ういか)さん、「JA新津さつき賞」に池上こころさんの作品が入賞しました。作品と審査員の講評について下記のとおりご紹介します。

JA新津さつき賞 池上 ころさん
(矢代田小1年)

グランプリ 飯野 初花さん
(矢代田小1年)

「ぼたん」となかよくなったよ



【審査員講評】
お母さん牛が本当に立派で、力強く描かれています。そのお腹の下で、子牛がおっぱいに近づいていく様子が表現されています。

「げんきもりもりのうしに
びっくりするわたし」



【審査員講評】
自分でつけた題名どおり、元気もりもりの牛にびっくりする私がとても見事に表現されています。また、お鼻や乳房もしっかりと観察されてきちんと描かれています。



【前ページからの続き】
◆第600号(平成16年12月号)これまでの活動が評価され、全国優良公民館表彰を受賞しました

全国優良公民館表彰を受賞して
—この喜び分かち合いたい—

中央公民館長 佐藤 貞夫

中越地震の余震が強く続いているなか「こういつてこそ大臣から表彰をいただきたい、町民に元氣を出してもらう」と、教育長からの激励を受け、表彰式前日の早朝、郡山回りで上京しました。

十月二十九日(金)霞ヶ関ビルの式場において、全国から選ばれた六十の公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受けました。表彰式に引き続いて、皇居において、天皇・皇后両陛下に拝謁し、お言葉を賜りました。

この受賞は、県公運や県の行政機関の指導をいただきながら町行政の強力な支援を受けて社会教育において優れた伝統を築いてきたその実績が認められたもので、重く大きな受賞であると感じています。

中央公民館入口正面に掛けられた表彰状を見ると、公民館活動草創期からの先輩の受賞を喜ぶスタッフ一同

ご賞状に感謝し、活動に参加するみんなでこの喜びを分かち合いたいと思います。

このたび、特色ある事業として、認められたものは、次の三事業でした。

一、小須戸公民館報の発行
昭和二十四年十月から六百号継続発行。地域性豊かな生涯学習情報の提供。

二、新津南高等学校開放講座
二十一年の継続講座。開かれた学校と生涯学習の講座。学校と地域の連携促進。

三、祖父母と孫の学級
まごころの町づくり宣言を受けて、明るい家庭づくりをねらったユニークな学級。この受賞を町民の誇りとし、益々公民館関係職員は、一丸となって、小須戸町から新潟市へ力強く新たな一歩を踏み出そうとしています。

◆第700号(平成25年4月号)公民館の成り立ちについて特集していました

「こすど地区公民館報」七〇〇号記念コラム

「公民館」と「公民館報」っていつてきたの?

公民館という呼び名で言われるようになったのは昭和二十一年頃で、すでに旧小須戸町では、国と県が指導する「公民館設置条件」にほとんど一致した「文化協会」が設立されており、当時県下でも注目され各地から視察に訪れていたというところです。

これを受けて昭和二十三年九月の町議会で議決され、「小須戸町中央公民館」は、正式に発足したのです。そして、翌二十四年十月に第一号の「公民館報(すど)」が発行され、以後半世紀の長きにわたり県下でも有数の館報として皆様に親しまれてきたのです。

初代館長は町長の村山吉五郎氏、副館長は議長の海津良助氏と中学校長の佐田武雄氏でした。

公民館は最初、中学校内に置かれていたが、昭和二十六年には今の商工会の場所にあった「町織物同業組合」を改築し設置され、以後転々と場所を変えて昭和五十年現在の地に建設されました。

このように多大な功績を残した、先人の社会教育に対する情熱に心から敬意を表するものであります。

公民館報は最初、中学校内に置かれていたが、昭和二十六年には今の商工会の場所にあった「町織物同業組合」を改築し設置され、以後転々と場所を変えて昭和五十年現在の地に建設されました。

現在の公民館の前身「小須戸町公民館」

小須戸地区図書室 新刊案内

【一般書】

- 『新ダイエットごはん』 上西 一弘/監修, 磯村 優貴恵/料理制作
- 『雑煮 365日』 松本 栄文/著
- 『JR上野駅公園口』 柳 美里/著
- 『徒然絵つづり百人一首』 大田垣 晴子/著
- 『人は話し方が9割』 永松 茂久/著

【児童書】

- 『迷路探偵ピエール 水の街の秘宝を追え!』 カミガキ ヒロフミ/作, IC4DESIGN/作
- 『十二支のお雑煮』 川端 誠/作
- 『くるまはこびます』 小風 さち/ぶん, 鈴木 周作/え
- 『のびるじどうしゃ』 平山 暉彦/さく
- 『はたらくじどうしゃ』 鈴木 まもる/さく・え
- 『どろろをつくるじどうしゃ』 鈴木 まもる/さく・え
- 『かじをけすじどうしゃ』 鈴木 まもる/さく・え
- 『ビルをつくるじどうしゃ』 鈴木 まもる/さく・え

秋葉区健康福祉課「健康ひとロメモ」

花粉症の時期がやってきます*

<花粉症とは?>
植物の花粉に対して人間の体が起こすアレルギー反応のことです。くしゃみや鼻水、涙などで体の外へ出そうとします。花粉の飛散状況は、環境省や日本気象協会のホームページで随時確認できますので、参考にしてください。

<花粉対策の一例>

- ・服装はポリエステル等のすべすべした素材がおススメです。
- ・つばの広い帽子、サングラス、手袋で露出を少なくしましょう。
- ・換気は、窓を開ける幅を10cmに、またレースカーテンをすることで室内に入ってくる花粉量を1/4に減らすことができます。コロナ感染対策のためにも換気は大切です。

文芸欄

俳句
夜明けかと思ふ真夜の雪明り
隣人の助入うれしや雪の朝
雪おろし四角に切つて軽々と
小豆粥さし入れうまし初句会
高熱のよもやと思ふ風邪の夫
疫病を焼き尽くしてやどんどの火
生き死には憂き世のならひ寒椿
老いてなほ上の香恋し黄水仙
お日さまに御目細める京雛

川柳
豪雪地手を取り合つて春を待つ
老体のシッパを泣かす雪の嵩
朝起きて雪のカサ見るくせになり
雪道を譲り合ひする暖かさ
雪除けでジムに行かないダイエット
落のとう雪をかき分け春告げに

短歌
偏西風大雪が降る寒気舞う
心こめ慣れない筆で写経をする
雪どけ開きつつ時が流れて
砂とう抜き紅茶の香り楽しみつ
めくる朝刊小さなときめき
雪が降る日がな一日風邪気味の
なすこともなくテレビの友達
雪の朝雀に覗かれ朝ごはん
餌はあるかと雀に問うて

こみけ 高橋 久保 玲 奉和 会田 保科 浄増 能保 熊本 佐馬 間吉 中風 吉
み 橋 保 和 田 科 井 登 倉 多 久 場 野 野 野
け 高 保 和 田 科 井 登 倉 多 久 場 野 野 野
み 橋 保 和 田 科 井 登 倉 多 久 場 野 野 野

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、3月19日(金)までに小須戸地区公民館へ。
(※投稿が21句を超えた場合は先着での掲載となります。)

ターゲットバードゴルフ講習会 in 親水公園!

ボールを飛ばす力がなくても楽しめます。初心者の方大歓迎。広々とした屋外でスポーツを楽しみませんか?

◆日 時 令和3年4月10日(土) 小雨決行
順延の場合4月11日(日)
9:00~12:00

◆参加費 500円(保険料・参加費)当日受付でお支払いください。

◆募集人数 先着30名

◆服装/持ち物 動きやすい服装、運動靴、飲み物、タオル、マスクを着用ください。
ゴルフの経験者で、P、PWとティーマットをお持ちの方はご持参下さい。
(※未経験者の方の道具は事務局で用意します)



◆申込方法 下記の事務局にある参加申込書にご記入の上、お申込ください。

- ・小須戸まちづくりセンター ☎ 0250-25-7069
- ・小須戸地区ふれあい会館 ☎ 0250-38-3151
- ・小須戸武道館 ☎ 0250-38-2121

◆申込締切 3月28日(日)までお願いします。

◆問合せ先 高野 豊さん 携帯 090-4098-4356

※予め発熱や体調の優れない場合は参加をご遠慮下さい。
※新型コロナウイルスの感染が拡大した場合には、やむを得ず中止とする可能性があります。

主催 小須戸コミュニティ協議会/山の手コミュニティ協議会/小須戸地区スポーツ振興会
※この事業は新潟市の補助金を受けています。